



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年11月7日

上場会社名 株式会社宮入バルブ製作所
コード番号 6495 URL <http://www.miyairi-valve.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田憲司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 市川 浩

TEL 03-3535-5575

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 3,201 | 21.3 | 81 | — | 81 | — | 52 | — |
| 2022年3月期第2四半期 | 2,638 | 19.8 | △14 | — | △25 | — | △32 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 1.08 | — |
| 2022年3月期第2四半期 | △0.67 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|---------------|-------|---|-------|---|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 8,078 | — | 3,862 | — | — | 47.8 |
| 2022年3月期 | 8,175 | — | 3,880 | — | — | 47.5 |

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 3,862百万円 2022年3月期 3,880百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 0.00 | — | 1.00 | 1.00 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2023年3月期(予想) | — | — | — | 1.00 | 1.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 6,000 | 11.4 | 100 | 37.9 | 100 | 70.6 | 70 | 72.1 | 1.46 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想につきましては、本日公表いたしました「2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2023年3月期2Q | 48,849,935 株 | 2022年3月期 | 48,849,935 株 |
| 2023年3月期2Q | 795,810 株 | 2022年3月期 | 819,909 株 |
| 2023年3月期2Q | 48,040,566 株 | 2022年3月期2Q | 47,991,057 株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(別添資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第2四半期累計期間 | |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナ政策による社会経済活動の正常化が進められ景気は穏やかに持ち直してきましたが、原油や天然ガス価格の高騰を引き金として、農産物価格にも及ぶ広範囲な物価上昇が発生しており、また円安の進行もあり、先行きについては不透明な状況にあるといえます。さらに、ウクライナと台湾で先鋭化する、ロシア、中国と米国、欧州、日本の複雑な政治的対立が世界経済の回復を妨げる要因となっております。

このような状況のなか、当第2四半期累計期間の売上高は、製品商品売上高が2,640百万円（前年同期比18.3%増）および作業屑売上高が560百万円（前年同期比37.8%増）となり、合計で3,201百万円（前年同期比21.3%増）となりました。製品商品売上高のうち、LPガス容器用弁は競合他社の廃業に伴う数量増と製品値上げ前の駆け込み需要により、大幅な増加となりました。一方で、バルク付属機器はコロナによるバルク貯槽の生産停滞により売上高が減少しました。作業屑売上高については、当期は工場の稼働率を上げたこと、および黄銅材の引き取り価格が高騰したことにより、大幅に増加しました。

損益面につきましては、LPガス容器用弁をはじめとする黄銅弁全般の製品値上げが効果を発揮したこと、および当社が採用している棚卸資産の評価方法（総平均法）では、材料等の仕入価格が上昇を続けている場合に棚卸資産評価額が増加するため、資産効果による利益増が発生することにより、当第2四半期累計期間においては当初予想を大幅に上回る利益を計上することができました。

以上により、当第2四半期累計期間においては、営業利益81百万円（前年同期は営業損失14百万円）、経常利益81百万円（前年同期は経常損失25百万円）および四半期純利益52百万円（前年同は四半期純損失32百万円）となっております。

なお、今後は評価額が高めの棚卸資産が販売されていくため収益性が悪化していくと見込んでおりますが、製品値上げの効果を踏まえ、本日、通期業績予想の修正を行ないました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、156百万円減少して3,381百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加52百万円による一方で、受取手形、売掛金及び契約資産の減少80百万円、電子記録債権の減少51百万円および商品及び製品の減少48百万円によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて、59百万円増加して4,696百万円となりました。これは主に、建設仮勘定の増加42百万円、投資その他の資産のうちその他の増加35百万円およびリース資産（純額）の増加21百万円による一方で、機械及び装置（純額）の減少39百万円によるものです。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて、96百万円減少して8,078百万円となりました。

(負債)

流動負債は前事業年度末に比べて、4百万円減少して2,385百万円となりました。これは主に、賞与引当金の増加64百万円、流動負債のうちその他の増加87百万円およびデリバティブ債務の増加38百万円による一方で、短期借入金の減少209百万円によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて、74百万円減少して1,830百万円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金の増加12百万円および固定負債のうちその他の増加26百万円による一方で、長期借入金の減少100百万円によるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、78百万円減少して4,216百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、18百万円減少して3,862百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加5百万円による一方で、繰越ヘッジ損益の減少32百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の47.5%から47.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、32百万円増加（前第2四半期累計期間は128百万円の増加）して240百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は509百万円（前第2四半期累計期間は408百万円の増加）となりました。これは主

に、税引前四半期純利益82百万円、減価償却費100百万円、棚卸資産の減少額82百万円および割引手形の増加額308百万円により増加する一方で、売上債権の増加額177百万円により減少しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は82百万円(前第2四半期累計期間は37百万円を使用)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入9百万円により増加する一方で、有形固定資産の取得による支出70百万円および定期預金の預入による支出20百万円により減少しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は394百万円(前第2四半期累計期間は242百万円を使用)となりました。これは主に、短期借入金の純増減額の減少209百万円、長期借入金の返済による支出118百万円および配当金の支払額48百万円により減少しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月13日発表の「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (2022年9月30日) |
|----------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 281,076 | 333,624 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 1,059,509 | 979,234 |
| 電子記録債権 | 331,267 | 280,025 |
| 商品及び製品 | 1,228,293 | 1,179,818 |
| 仕掛品 | 9,643 | 5,494 |
| 原材料及び貯蔵品 | 603,644 | 573,686 |
| その他 | 26,679 | 31,552 |
| 貸倒引当金 | △1,446 | △1,446 |
| 流動資産合計 | 3,538,668 | 3,381,990 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 334,371 | 327,152 |
| 構築物(純額) | 70,750 | 67,364 |
| 機械及び装置(純額) | 799,927 | 760,277 |
| 車両運搬具(純額) | 1,923 | 1,846 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 38,411 | 38,492 |
| 土地 | 2,441,000 | 2,441,000 |
| リース資産(純額) | 172,308 | 193,610 |
| 建設仮勘定 | 8,819 | 51,676 |
| 有形固定資産合計 | 3,867,513 | 3,881,419 |
| 無形固定資産 | | |
| 無形固定資産 | 15,909 | 25,375 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 321,209 | 321,993 |
| 関係会社株式 | 25,500 | 25,500 |
| その他 | 414,568 | 450,131 |
| 貸倒引当金 | △7,900 | △7,900 |
| 投資その他の資産合計 | 753,377 | 789,724 |
| 固定資産合計 | 4,636,801 | 4,696,518 |
| 資産合計 | 8,175,469 | 8,078,508 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (2022年9月30日) |
|----------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形、買掛金及び契約負債 | 611,519 | 615,321 |
| 短期借入金 | 1,180,400 | 971,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 238,892 | 221,152 |
| 未払法人税等 | 15,005 | 43,579 |
| 賞与引当金 | 40,192 | 104,686 |
| デリバティブ債務 | — | 38,222 |
| その他 | 303,650 | 391,641 |
| 流動負債合計 | 2,389,659 | 2,385,602 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 641,330 | 540,380 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 731,471 | 731,471 |
| 退職給付引当金 | 280,820 | 268,314 |
| 役員退職慰労引当金 | 90,278 | 103,090 |
| 債務保証損失引当金 | 5,000 | 5,000 |
| その他 | 156,110 | 182,268 |
| 固定負債合計 | 1,905,011 | 1,830,525 |
| 負債合計 | 4,294,671 | 4,216,127 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,993,096 | 1,993,096 |
| 資本剰余金 | 4,217 | 4,217 |
| 利益剰余金 | 235,066 | 238,992 |
| 自己株式 | △124,528 | △120,624 |
| 株主資本合計 | 2,107,851 | 2,115,682 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 74,280 | 80,268 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △32,235 |
| 土地再評価差額金 | 1,698,666 | 1,698,666 |
| 評価・換算差額等合計 | 1,772,946 | 1,746,698 |
| 純資産合計 | 3,880,798 | 3,862,381 |
| 負債純資産合計 | 8,175,469 | 8,078,508 |

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 売上高 | 2,638,203 | 3,201,220 |
| 売上原価 | 2,279,136 | 2,644,081 |
| 売上総利益 | 359,067 | 557,139 |
| 販売費及び一般管理費 | 374,007 | 475,552 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △14,939 | 81,586 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 1 |
| 受取配当金 | 5,348 | 5,456 |
| 不動産賃貸料 | 606 | 931 |
| スクラップ売却益 | 2,284 | 1,233 |
| 助成金収入 | 19,734 | — |
| その他 | 2,194 | 7,516 |
| 営業外収益合計 | 30,170 | 15,139 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,802 | 7,626 |
| 手形売却損 | 2,678 | 4,555 |
| 休業手当 | 26,059 | — |
| その他 | 2,292 | 2,593 |
| 営業外費用合計 | 40,833 | 14,774 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △25,603 | 81,951 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 234 | 675 |
| 特別利益合計 | 234 | 675 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,456 | 29 |
| 特別損失合計 | 1,456 | 29 |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△) | △26,825 | 82,596 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,508 | 30,515 |
| 法人税等合計 | 5,508 | 30,515 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △32,333 | 52,081 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益又は税引前 四半期純損失(△) | △26,825 | 82,596 |
| 減価償却費 | 91,011 | 100,902 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 72 | 64,494 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 8,159 | △12,506 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 12,131 | 12,812 |
| 受取利息及び受取配当金 | △5,350 | △5,457 |
| 支払利息 | 9,802 | 7,626 |
| 固定資産除却損 | 1,456 | 29 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △234 | △675 |
| 助成金収入 | △19,734 | — |
| 休業手当 | 26,059 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △60,682 | △177,089 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 233,779 | 82,582 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 115,612 | 1,725 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △59,742 | 33,335 |
| 割引手形の増減額(△は減少) | 26,408 | 308,606 |
| その他 | 51,359 | 15,573 |
| 小計 | 403,284 | 514,556 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5,350 | 5,457 |
| 利息の支払額 | △9,522 | △7,312 |
| 助成金の受取額 | 76,764 | — |
| 休業手当の支払額 | △41,322 | — |
| 法人税等の支払額 | △25,612 | △4,834 |
| 法人税等の還付額 | — | 1,758 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 408,941 | 509,625 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | — | △20,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △12,613 | △70,268 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,580 | △780 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △548 | △619 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 3,287 | 9,169 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △25,500 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △37,955 | △82,499 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △113,300 | △209,400 |
| 長期借入金の返済による支出 | △118,360 | △118,690 |
| 自己株式の処分による収入 | 3,130 | 3,321 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △0 |
| 配当金の支払額 | △784 | △48,418 |
| その他 | △13,315 | △21,391 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △242,629 | △394,578 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 128,357 | 32,547 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 218,339 | 208,076 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 346,696 | 240,624 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の主たる事業は、高圧ガス用バルブおよび関連機器類の製造、販売等の単一セグメントであるため、記載を省略しております。